

属

3748



爵位諸案

3748

屬字樣係此可

114  
A2531

明治十一年六月

法制局



華族令品位令爵位局職制事務章程及右二屬  
凡諸告達書授爵內規官爵品位勳等性質區分  
內規爵位局創置順序方法等諸案別紙  
考定仰憲裁候也  
調査

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄

布告紫

今般公侯伯子男五爵ヲ設テ有爵者ハ總テ  
華族ト稱シ華族令別紙ノ通創定候條此旨布  
告候事

華族令

第一條 爵ハ總テ勅授ニシテ世襲ノ方トス

第二條 華族ノ特ニ有スヘキ權利ハ有爵本人

及ニ其配偶者ノミニ屬スル者トス

但戸籍上家屬ヲ以テ記列スルハ従前ノ

第三條 華族ハ一般爵位局ノ直管トス其民年

ニ係ル事項ニ付テハ従前ノ通其地方官廳ノ

管轄タルベシ

第四條 爵ハ該戸主ノ生存中ニ之ヲ相続スル

ヲ許サス

但法律ヲ以テ爵位ヲ褫奪スル、時ハ特

旨ヲ以テ相續人ニ之ヲ相續スルヲ許ス

スルヲアルヘシ

第五條 爵號ハ左ノ順次ニ從ヒ之ヲ相續スル

ヲ但

第一 皇族ノ皇孫トシテ皇位ニ繼承スル者

第二 皇族ノ皇孫トシテ皇位ニ繼承スル者ノ

第三 庶出ノ長子トシテ皇位ニ繼承スル者

第四 父

第五 母

華族

第一條 爵ハ總テ勅授ニシテ世襲ノ方トス

第二條 華族ノ特ニ有スヘキ權利ハ有爵本人

及ニ其配偶者ノミニ屬スル者トス

但戸籍上家屬ヲ以テ記列スルハ從前ノ

第三條 華族ハ一般爵位局ノ直管トス其民年

ニ係ル事項ニ付テハ從前ノ通其地方官廳ノ

管轄タルベシ

第四條 爵ハ該戸主ノ生存中ニ之ヲ相續スル

ヲ許サス

但法律ヲ以テ爵位ヲ褫奪スラル、時ハ特

旨ヲ以テ相續人ニ之レヲ相續スルヲ許シ

スルヲアルヘシ

第五條 爵號ハ左ノ順次ニ從ヒ之ヲ相續スル

ヲ得ヘシ

第一 嫡出ノ長男

第二 嫡出ノ次三男以下遞ニ順序ヲ以テス

第三 庶出ノ長次三男以下遞ニ順序ヲ以テ

ス

第四 父

世襲ノ方トス  
權利ハ有爵本人  
者トス

列スルハ從前ノ  
直管トス其民年  
通其地方官廳ノ

中ニ之ヲ相統スル

等ヲル、時ハ持

相續スルヲ許ス

之ヲ相續スル

遞ニ順序ヲ以テス

遞ニ順序ヲ以テ

遞ニ順序ヲ以テ

家ノ嫡子ハ先相續スルモトスレハ現今女戸主ノ  
相續人ノ撰定アリ右ハ必相續中ハ高爵ヲ賜ヒ追テ男子ノ養子又ハ  
相續人ノ撰定アリ右ハ必相續中ハ高爵ヲ賜ヒ追テ男子ノ養子又ハ

第五 本宗祖父

第六 本宗曾祖父

以上順次先ノ其子孫後裔ニ傳ヘ其子孫及後裔ナキトキハ父祖ニ溯リ又其子孫後裔ニ傳ヘ無窮ニ至ル但シ子孫後裔ナキハ宗族親族ノ内ヨリ養子又ハ相續人ヲ選ビ寄附ヲ傳フルヲ願出ワルヲ得ヘシ

第六條 前條庶出ノ子ト稱スルハ妾腹ノ子ト認メタル私生ノ子ヲ認稱ス

第七條 左ニ記列シタル場合ニ於テハ爵號ヲ

停止スルコトアル

第一 不良ノ職業ヲ

第二 身代限ノ裁判

ノ償還濟ニ

第三 著シキ不行跡

ケ年以下

第八條 貧困若シクハ

體面ヲ保有スルコト

辞スルコトヲ得

第九條 華族ノ座位ハ儀テ品位令ニ定ムル所

此ノ條ニ於テハ庶出ノ子ト稱スルハ妾腹ノ子ト認メタル私生ノ子ヲ認稱スルコトアル

第一ノ條ニ於テハ不良ノ職業トシテハ...

第二ノ條ニ於テハ身代限ノ裁判トシテハ...

第三ノ條ニ於テハ著シキ不行跡トシテハ...

第八ノ條ニ於テハ貧困若シクハ體面ヲ保有スルコトヲ得...



第五 本宗祖父

第六 本宗曾祖父

以上順次先ノ其子孫後裔ニ傳ヘ其子孫及後裔ナキトキハ父祖ニ溯リ又其子孫後裔ニ傳ヘ無窮ニ至ル但シ子孫後裔ナキトキハ宗族親族ノ内ヨリ養子又ハ相續人ヲ選ビ寄附ヲ傳フルコトヲ得ヘシ

第六條

前條庶出ノ子ト稱スルハ妾腹ノ子ト認メタル私生ノ子ヲ認稱ス

第七條

左ニ記列シタル場合ニ於テハ爵號ヲ

停止スルコトアルヘシ

第一 不良ノ職業高業ヲ為ス者ハ

第二 身代限ノ裁判ヲ受ケタル者ハ其ノ任

ノ償還済ニ至ル迄ノ時間

第三 著シキ不行跡アル者ハ一ケ年以テ五

ケ年以下

第八條

貧困若シクハ他ノ事故アリテ華族ノ

體面ヲ保有スルコト能ハサル者ハ其間爵ヲ

辞スルコトヲ得

第九條

華族ノ地位ハ爵ヲ品位令ニ定ムル所

第七條 返還  
第八條 華族  
第九條 可キハ

本宗祖父

本宗曾祖父

次先ノ其子孫後裔ニ傳ヘ其子孫及後  
トキハ父祖ニ溯リ又其子孫後裔ニ傳  
ニ至ル但シ子孫後裔ナキハ本宗族  
内ヨリ養子又ハ相續人ヲ選ビ爵號ヲ  
コトヲ願出ワルコトヲ得ヘシ  
前條庶出ノ子ト稱スルハ妾腹ノ子  
タル私生ノ子ヲ認稱ス  
左ニ記列シタル場合ニ於テハ爵號ヲ

ルコトアルヘシ

不良ノ職業高業ヲ為ス者ハ

身代限ノ裁判ヲ受ケタル者ハ其ノ後

ノ償還濟ニ至ル迄ノ時間

著シキ不行跡アル者ハ一ケ年以テ五

ケ年以下

負困若シクハ他ノ事故アリテ華族ノ

保有スルコト能ハサル者ハ其間爵ヲ

コトヲ得

華族ノ座位ハ從テ品位令ニ定ムル所

第七條 五場合ニ於テハ爵ヲ返上セシム可シ尤  
返爵後四十五年ヲ過ルニ於テハ復爵ヲ許サス

第一 一面ニ關スル職業高業ヲ為シタル者  
其職業中

第二 負債ノ事故アリテ華族ノ体面  
保有スル能ハサル時間

第三 身代限ノ處分ヲ受ケタル者  
但二十年以内ニ負債ヲ償却シテ後五年以

内ニ於テ華族タル体面ヲ回復スル特ハ  
後條ニ於テハ許スルヘシ

著シキ不行跡アル者  
但甚輕重ニヨリ五年以内ニ悔改ノ実績  
有テ華族タル体面ヲ回復スル特ハ復爵  
ヲ許スルヘシ

第七條 職業高業ノ種類ハ條不行跡ノ種類及七夫ノ  
爵ニ由テ特種ヲ有スル婦人不行跡モノハ條不行  
可キハ親ノ條例ヲ下ニ記載ス可シ

古七條 職業高業ノ種類ハ條不行跡ノ種類及七夫ノ  
爵ニ由テ特種ヲ有スル婦人不行跡モノハ條不行  
可キハ親ノ條例ヲ下ニ記載ス可シ

二從ノヘ

布告案

品位令左之通制定候條此旨布達候事

品位令

從則

第一條

品ハ一品ヨリ四品ニ至ルノ四階

テ總テ勅叙トシ親王内親王諸王共王ニ限リ

之ニ叙ス

第二條

位階ハ一位ヨリ初位ニ至リ其九位以

上ハ每位正從ヲ設ケ初位ハ大少ヲ分ケ從テ

二十階其三位以上ノ六階ヲ勅授トシ四五六

位ノ六階ヲ奏授トシ七八九初位ノ八階ニ判

授トス

第三條 凡ソ位階

奪セラレハ、ノ外ハ終身之ヲ有スルモノトス

第四條 無官爵ニシテ有位ノ者之ヲ散位ト云

第一章官人叙位ノ事

第五條 凡ソ勅任官ニ任セラレタル者ハ即日

相當ヨリ三階下ノ位ニ叙シ奏任官ニ任セラ

レタル者ハ在職滿二年ニシテ始テ三階下ノ

位ニ叙スヘシ

第六條 勅奏任官共本令ニ依リ叙位

昇等スルトキハ其昇等ニ準シ即日位階ヲ進

ルヘシ

例ハハ四等官正五位ノ者三等官

ル時ハ即日從四位ニ叙スルノ類ヲ云

第七條 勅奏任官叙位ノ後毎滿年一階ヲ進

極叙ニ至テ止ムヲ滿年進叙例圖ヲ照看スハ

ニ

第八條 出仕ハ都テ叙位セス其任官ニタル時

ハ出仕中ノ年數ヲ加算シテ叙位スヘシ

第九條 奏任官ハ二年職等ノ後再々任官スル者

ハ前後ヲ通シ 現在ノ官等ニ依リ叙位ス

第三條 凡ソ位階 忌戒例及ニ刑律ニ目リ祝

奪セラレ、ノ外ハ終身之ヲ有スルモノトス

第四條 無官爵ニシテ有位ノ者之ヲ散位ト云

第一章官人叙位ノ事

第五條 凡ソ勅任官ニ任セラレタル者ハ即日

相當ヨリ三階下ノ位ニ叙シ奏任官ニ任セラ

レタル者ハ在職滿二年ニシテ始テ三階下ノ

位ニ叙スヘシ

第六條 勅奏任官共本令ニ依リ叙位

昇等スルトキハ其昇等ニ準シ即日位階ヲ進

ムヘシ

例ハハ四等官正五位ノ者三等官

ル時ハ即日從四位ニ叙スルノ類ヲ云

第七條 勅奏任官叙位ノ後每滿年一階ヲ進

極叙ニ至テ止ムヲ滿年進叙例圖ヲ照看スヘ

シ

第八條 出仕ハ都テ叙位セス其任官ニタル時

ハ出仕中ノ年數ヲ加算シテ叙位スヘシ

第九條 凡ソ官人ニ任官スル者

ハ前後ヲ通シ 現在ノ官等ニ依リ叙位ス

忌戒例ニ目リ  
及ニ作ル

一七

第十條 一等ノ奏任官ヨリ滿二年內數等ノ累進スル者ハ前後ヲ通算シテ現在ノ官等ニ依リ叙位スヘシ

第十一條 懲戒例ノ處分ヲ受ケタル者ハ左ノ規則ニ回リ年數ヲ減スヘシ

譴責 一ケ年

罰俸 二ケ年

免職 却テ廢棄

第十二條 勅奏任官滿年進叙例圖左ノ如シ

勅任官滿年進叙例圖

初叙	中間滿年	中間滿年	極叙 中間滿年	正一位
			太政大臣 左大臣	從一位
			太政大臣 右大臣	正二位
			太政大臣 左大臣	從二位
			太政大臣 右大臣	正三位
			太政大臣 左大臣	從三位
			太政大臣 右大臣	正四位
			太政大臣 左大臣	從四位
			太政大臣 右大臣	正五位
			太政大臣 左大臣	從五位

奏任官進叙停年例圖

初叙	中間滿年	中間滿年	極叙 中間滿年	正四位
			四等官	從四位
			五等官	正五位
			六等官	從五位
			七等官	正六位
			八等官	從六位
			九等官	正七位
			十等官	從七位
			十一等官	正八位
			十二等官	從八位

第三章 華族叙位ノ事

第十三條 凡ソ爵ヲ授カル者ハ各左ノ例圖

照ニ即日初叙ノ位ニ叙シ毎滿年一階ヲ進ス

極叙ニ至テ止ム其幼者ハ滿二十年ニ至ルテ

俟テ初テ叙位スヘシ

華族滿年進叙例圖

爵号	極叙	中間	初叙
公	正二位	六年	從五位
侯	從五位		從五位
伯	正三位	八年	從五位



男	子
正四位	從三位
	九等
從五位	從五位

第十四條 凡ソ華族ノ嫡子孫其爵ヲ襲クヘキ者ハ滿ニ

十年ニ至テ初メテ從五位ニ叙シ其父爵ヨリ

一等下ノ滿年進叙例圖ニ照シテ每滿年進叙

シ父現有位ノ一級下ニ進ムコトヲ得

第十五條 凡ソ爵ヲ褫奪セラレタル者ハ位階

モ与ニ褫奪セラレヘシ

第十六條 凡ソ爵ヲ停止セラレタル者ハ位階

モ与ニ停止セラレタルヘシ且其停止セラレタル

間ハ滿年進叙ノ數ニ加算セス

第十七條 凡ソ褫位セラレタル者ハ爵ヲ廢

コトヲ得ス

第三章 雜則

第十八條 凡ソ叙位セラレ、者

其初叙進階ハ

必ス自ラ參朝スヘシ止ヲ得ケル事故ニ依リ

參朝セサル者ハ代人ヲ以テ之ヲ受クルコト

第十九條 凡ソ舊年進叙ハ現ニ叙位ヲ受ク

日ヨリ起算スヘシ

男	子
正四位	從三位
	九等
從五位	從五位

第十四條 凡ソ華族ノ嫡子孫其爵ヲ襲クヘキ者ハ滿ニ

十年ニ至テ初メテ從五位ニ叙シ其父爵ヨリ

一等下ノ滿年進叙例圖ニ照シテ每滿年進叙

シ父現有位ノ一級下ニ進ムコトヲ得

第十五條 凡ソ爵ヲ褫奪セラレタル者ハ位階

モ与ニ褫奪セラレヘシ

第十六條 凡ソ爵ヲ停止セラレタル者ハ位階

モ与ニ停止セラレタルヘシ且其停止セラレタル

間ハ滿年進叙ノ數ニ加算セス

第十七條 凡ソ褫位セラレタル者ハ爵ヲ襲フ

コトヲ得ス

第三章 雜則

第十八條 凡ソ叙位セラレ、者其初叙進階ハ

必ス自ラ參朝スヘシ止ラ得ナル事故ニ依リ

參朝セサル者ハ代人ヲ以テ之ヲ受クルコト

ヲ得

第十九條 凡ソ舊年進叙ハ現ニ叙位ヲ受ク

日ヨリ起算スヘシ

爵ハ相續人ハ叙ム

第二十條 凡ソ官爵ヲ共有スル者ハ其官爵ノ

進叙例ヲ比較シ高キモノニ依リ叙位スヘシ

第廿一條 凡ソ特命賞賜若クハ追贈ニ係ルモ

ノハ都テ奉令ノ外トス

第廿二條 非官有位者ノ位記視奪若クハ停叙

ハ都テ有爵者ノ例ニ依ルヘシ

第廿三條 凡ソ奏授位以上ノ者在京ノ時ハ三

大節及ヒ其他ノ祝日ニハ式部頭ノ通達ヲ得

テ 皇居ヘ参賀シ時宜ニヨリ謁見ヲ得ルモ

ノトス其各地ニ在ルモノハ式部頭ヲ經テ

賀表ヲ上ルヘシ

第廿四條 凡ソ判授ノ位記ヲ有スル者其在京

ノ時ハ三大節及ヒ其他ノ祝日ニハ式部頭ノ

通達ヲ得テ 皇居ヘ参賀スヘシ其各地方ニ

在ルモノハ地方長官ヲ經テ賀表ヲ上ルヘシ

第廿五條 有位ノ者参朝ノ節ハ左ノ規則ニ從

フヘシ

勅叙位ノ者 中仕切御門ニ於テ下乘御車

穿ヨリ昇降

奏叙位ノ者 表御門臺ニ於テ下乘御車寄

第二十條 凡ソ官爵ヲ共有スル者ハ其官爵

進叙例ヲ比較シ高キモノニ依リ叙位スヘシ

第廿一條 凡ソ特命賞賜若クハ追贈ニ係ルモ

ノハ都テ奉令ノ外トス

第廿二條 非官有位者ノ位記視奪若クハ停止

ハ都テ有爵者ノ例ニ依ルヘシ

第廿三條 凡ソ奏授位以上ノ者在京ノ時ハ三

大節及ヒ其他ノ祝日ニハ式部頭ノ通達ヲ得

テ 皇居ヘ参賀シ時宜ニヨリ謁見ヲ得ルモ

ノトス其各地ニ在ルモノハ式部頭ヲ經テ

賀表ヲ上ルヘシ

第廿四條 凡ソ判授ノ位記ヲ有スル者其在京

ノ時ハ三大節及ヒ其他ノ祝日ニハ式部頭ノ

通達ヲ得テ 皇居ヘ参賀スヘシ其各地方ニ

在ルモノハ地方長官ヲ經テ賀表ヲ上ルヘシ

第廿五條 有位ノ者参朝ノ節ハ左ノ規則ニ從

フヘシ

勅叙位ノ者 中仕切御門ニ於テ下乘御車

寄ヨリ昇降

奏叙位ノ者 表御門臺ニ於テ下乘御車寄

凡判授後  
祝日ニハ  
改テ可シ

凡判授後  
祝日ニハ  
改テ可シ

ヨリ昇降

判叙位ノ者、表御門臺ニ於テ下衆判任官

昇降ヨリ昇降

附則

一本令御裁定ノ日勅奏官現今進叙例ノ年限  
滿ル者ハ直ニ本令ニヨリ叙位ニ其刺數  
後ノ停年内ニ加算ス

御達案

院省使府縣

官職勲等爵位相當表及席次條例左ノ通創定候  
條此旨相達候事

ヨリ昇降

判叙位ノ者 表御門臺ニ於テ下衆判任官  
昇降ヨリ昇降

附則

一本令御裁定ノ日勅奏官現今進叙例ノ年限ニ  
滿ル者ハ直ニ本令ニヨリ叙位ニ其刺數ハ以  
後ノ停年内ニ加算ス

進  
ル  
年  
數  
以  
後

御達案

院省使府縣

官職勲等爵位相當表及席次條例左ノ通創定候  
條此旨相達候事

官職勲等爵位相當表

正一位				大勲			太政官	
從一位							左大臣 右大臣	
正二位				勲一等			判書 少輔 一等官	參議
從二位				勲二等			四等官 三等官	
正三位		公爵					檢事長	以初任
從三位	監初授	侯爵		勲三等			勳在縣令 勳在縣正	
正四位		伯爵		勲四等		大教正	四等官	
從四位		子爵				大教正 中教正	五等官	
正五位		男爵	監初授	勲五等		中教正	六等官	以奉任
從五位				勲六等		中教正	七等官	
正六位						少教正	勳在縣官 勳在縣正	
從六位	監奉授			勲七等		少教正	勳在縣官 勳在縣正	
正七位				勲八等	監初授	大講教	十等官	
從七位						大講教	十一等官	
正八位						中講教	十二等官	
從八位						中講教	十三等官	
正九位						少講教	十四等官	
從九位						少講教	十五等官	
大勲位						勳在縣官	十六等官	
少初位	監初授					勳在縣官	十七等官	以奉任

席次條例

第一條

親王内親王ハ品ヲ以テ尊卑ヲ分チ

王女王ハ親王ノ次ニ位ニ品ヲ以テ上下ヲ定ム

ムルノ親王ニ同ニ品ハ一品ヨリ四品ニ至ル

無品ハ有品ノ下ニ列ス皇子女ハ品ノ有無ニ

第二條

凡群臣官職或ハ勲等爵位ヲ魚帶セル

者ハ官職勲等爵位相當表ニ從テ比較参照シ

第三條

凡官アリ位ナク位アリ官ナキ類ハ都

官職勲等爵位相當表

正一位				大勲位				大勲位	
從一位								左大臣 右大臣	
正二位				勲一等				參議 一等官	
從二位				勲二等				二等官 三等官	
正三位					公爵			檢事長	
從三位	以上勲位			勲三等	侯爵			勲任 勲任令	以上勲任
正四位				勲四等	伯爵			大教二 勲任令	四等官
從四位					子爵			勲任令	五等官
正五位				勲五等	男爵	以上勲位		勲任令	六等官
從五位				勲六等				勲任令	七等官
正六位								勲任令	八等官
從六位	以上勲位			勲七等				勲任令	九等官
正七位				勲八等				勲任令	十等官
從七位								勲任令	十一等官
正八位								勲任令	十二等官
從八位								勲任令	十三等官
正九位								勲任令	十四等官
從九位								勲任令	十五等官
大勲位								勲任令	十六等官
少勲位	以上勲位							勲任令	十七等官

席次條例

第一條 親王内親王ハ品ヲ以テ尊卑ヲ分テ諸  
 王女王ハ親王ノ次ニ位ニ品ヲ以テ上下ヲ定  
 ムルヲ親王ニ同シ品ハ一品ヨリ四品ニ至ル  
 無品ハ有品ノ下ニ列ス皇子女ハ品ノ有無ニ  
 関セズ上席ニ位ス  
 第二條 凡群臣官職或ハ勲等爵位ヲ兼帶セル  
 者ハ官職勲等爵位相當表ニ從ヒ比較参照シ  
 其高キニ從テ席ヲ定ム  
 第三條 凡官アリ位ナク位アリ官ナキ類ハ都



位							左大臣	
從二位							右大臣	
正二位							參議	
從二位							一等官	
正三位							二等官	
從三位							三等官	
正四位							四等官	
從四位							五等官	
正五位							六等官	
從五位							七等官	
正六位							八等官	
從六位							九等官	
正七位							十等官	
從七位							十一等官	
正八位							十二等官	
從八位							十三等官	
正九位							十四等官	
從九位							十五等官	
位							十六等官	
從九位							十七等官	
少初位							十八等官	

席次條例

第一條 親王内親王ハ品ヲ以テ尊卑ヲ分テ諸

王女王ハ親王ノ次ニ位ニ品ヲ以テ上下ヲ定

ムルノ親王ニ同ニ品ハ一品ヨリ四品ニ至ル

無品ハ有品ノ下ニ列ス皇子女ハ品ノ有無ニ

関セス上席ニ位ス

第二條 凡群臣官職或ハ勲等爵位ヲ兼帶セル

者ハ官職勲等爵位相當表ニ從ヒ比較參照シ

其高キニ從テ席ヲ定ム

第三條 凡官アリ位ナク位アリ官ナキ類ハ都

奉文品位令ニ依ル此條  
例三六則ニ於テ

テ官職勲等爵位相當表ニ照準比較シ其官或ハ位ニ從ヒ席ヲ定ム

第四條 凡同位相當ノ者ハ官廳ノ順次ニ從ヒ同官ハ位次ヲ以テシ同位ハ叙日ノ前後ヲ以テス若シ同官同位ニシテ勲等或ハ爵ヲ有セル者ハ即チ相當表ト比較シ勲等或ハ爵其位ヨリ高キトキハ其故ヲ以テ上ニ列ス

但陸海軍武官ハ同官ノ者都テ任官ノ新舊等恒ヲ以テ列ス

第五條 有官無位ノ者ハ任官ノ前後ヲ以テシ乞請降官ノ者ハ旧官ノ任日ヲ以テ本官ノ席ヲ保ツ

第六條 廢官及ヒ依願免官ノ者三ケ月中前官ニ復シ或ハ下席官ニ任スル時ハ第五條乞請降官ノ例ニ依ル

第七條 有位ノ者同日昇位スル時ハ其前位ノ上下ニ依リ本位ノ次序ヲ定メ無位ノ者同日叙位スレハ年齢月日ノ多少ヲ以テ上下ヲ定ム

第八條 乞請降位ノ者ハ本位中ノ上ニ列ス若シ

テ官職勲等爵位相當表ニ照準比較シ其官或ハ位ニ從ヒ席ヲ定ム

第四條 凡同位相當ノ者ハ官廳ノ順次ニ從ヒ同官ハ位次ヲ以テシ同位ハ叙日ノ前後ヲ以テス若シ同官同位ニシテ勲等或ハ爵ヲ有セル者ハ即チ相當表ト比較シ勲等或ハ爵其位ヨリ高キトキハ其故ヲ以テ上ニ列ス

但陸海軍武官ハ同官ノ者都テ任官ノ前後ヲ以テ列ス

但書勲等

第五條 有官無位ノ者ハ任官ノ前後ヲ以テシ乞請降官ノ者ハ旧官ノ任日ヲ以テ本官ノ席ヲ保ツ

第六條 廢官及ヒ依願免官ノ者三ケ月中前官ニ復シ或ハ下席官ニ任スル時ハ第五條乞請降官ノ例ニ依ル

第七條 有位ノ者同日昇位スル時ハ其前位ノ上下ニ依リ本位ノ次序ヲ定メ無位ノ者同日叙位スレハ年齢月日ノ多少ヲ以テ上下ヲ定ム

第八條 乞請降位ノ者ハ本位中ノ上ニ列ス若シ

數人アレハ其前位ノ上下ヲ以テ次序ヲ定ム

第九條 復位宣下ノ者ハ前席ヲ保ツ

第十條 任叙ハ宣旨位記ノ日月ヲ以テ証據トス

第十一條 同勲等ノ者ハ位ノ高下ニ依ル

第十二條 官職勲等爵位相當表ニ從ヒ且此條

例ニ則リ定ムル席次録ハ毎年兩回式部寮ヨ

リ刊行報告ス可シ

第十三條 此條例ニ矛盾スル從前ノ布告布達

類ハ都テ廢止トス

御達案

官院省使府縣

宮内省中ニ爵位局ヲ置キ職制事務章程別

紙ノ通創定候條此旨相達候事

爵位局職制及事務章程

爵位局ハ品位爵號ヲ宣行授叙シ卒業  
位者ヲ管理スル所トス

職制

總裁 一員 一等

第一 本局ノ官員ヲ統率シ局中一切ノ事務  
ヲ總理スルヲ掌ル

第二 本局奏任官ノ進退黜陟ハ之ヲ具狀シ  
其判任以下ハ之ヲ專行ス

爵位局職制及事務章程

爵位局ハ品位爵號ヲ宣行授叙シ華族並ニ有位者ヲ管理スル所トス

職制

總裁 一員 一等

第一 本局ノ官員ヲ統率シ局中一切ノ事務ヲ總理スルヲ掌ル

第二 本局奏任官ノ進退黜陟ハ之ヲ具狀シ其判任以下ハ之ヲ專行ス

品位ノ上ニ  
爵位ノ進退

第三 事務章程ニ掲記シタル事項ニ於テハ

總裁皆其責ニ任ス

副總裁 一員 二等

總裁ノ職掌ヲ輔ケ總裁事故アル時ハ  
其事務ヲ代理スルヲ得

議定官 三等

爵位授叙ノ事ヲ議定ス

大辨事 四等

權大辨事 五等

少辨事 六等

### 權少辨事

總裁ノ命ヲ受ケ爵位授叙華族並有位  
者諸願伺届書ヲ調査シ局中庶務計算  
ヲ提掌ス

一等掌記 八等

二等掌記 九等

三等掌記 十等

四等掌記 十一等

五等掌記 十二等

六等掌記 十三等

- 七等掌記 十四等
- 八等掌記 十五等
- 九等掌記 十六等
- 十等掌記 十七等

事務章程

第一條 華族令品位令ニ據リ其授叙スヘキ者  
 ヲ調査シ其奏授以上ノモノハ之ヲ上申シ其  
 判授ニ係ルモノハ直ニ之ヲ授叙スル事  
 第二條 爵位ヲ停止シ若クハ之ヲ褫奪スヘキ

者アル時ハ其理由ヲ審案具状シ之ヲ上申ス  
 ル事

第三條 辭爵若シクハ位記返上ヲ願フモノア  
 ル時ハ其適否ヲ審案具状スル事

第四條 爵位ヲ有スル者ノ待遇礼節ノ制式ヲ  
 定メ式ハ之ヲ改正スルノ意見ヲ上申スル事

第五條 華族懲戒例ヲ増減改正スルノ意見  
 上申スル事

第六條 華族懲戒例ニ當ル者アル時ハ其處分  
 ヲ審案具状シ裁可ヲ得テ之ヲ執行スル事



七等掌記

十四等

八等掌記

十五等

九等掌記

十六等

十等掌記

十七等

事務章程

第一條 華族令品位令ニ據リ其授叙スヘキ者

ヲ調査シ其奏授以上ノモノハ之ヲ上申シ其

判授ニ係ルモノハ直ニ之ヲ授叙スル事

第二條 爵位ヲ停止シ若クハ之ヲ褫奪スヘキ

者アル時ハ其理由ヲ審案具状ニ之ヲ上申ス  
ル事

第三條 辭爵若シクハ位記返上ヲ願フモノア

ル時ハ其適否ヲ審案具状スル事

第四條 爵位ヲ有スル者ノ待遇礼節ノ制式ヲ

定メ式ハ之ヲ改正スルノ意見ヲ上申スル事

第五條 華族懲戒例ヲ増減改正スルノ意見ヲ

上申スル事

第六條 華族懲戒例ニ當ル者アル時ハ其處分

ヲ審案具状シ裁可ヲ得テ之ヲ執行スル事

受領三國スル許  
受領法ニ移送ス

第七條 凡ノ爵位ヲ授叙スルニハ左ノ式ニ從

爵記式

天祐ヲ保有ニ萬世一系ノ帝祚ヲ踐タル日本  
國皇帝ハ何官何位勲何等氏名ニ何爵ヲ授ケ  
世襲セシム仍テ汝ハ此爵ニ屬スル接遇ヲ受  
ルヲ得ヘシ  
神武天皇即位記元二千五百卅何年明治十何  
年何月何日東京皇居ニ於テ親ヲ名ヲ署シ重  
ヲ鈴ス

御諱

大日本  
國璽

何官兼爵位局總裁何爵何位勲何等氏名

之氏名  
之印

何官兼爵位局副總裁何爵何位勲何等氏名

之氏名  
之印

何官兼爵位局大辨事何爵何位勲何等氏名

之氏名  
之印

爵位  
印

品及勅授位記式

何官何

品勲何等親王名  
爵何位勲何等氏名

叙何品

御諱

天皇  
御璽

第七條 凡ソ爵位ヲ授叙スルニハ左ノ式ニ從

フヘシ

爵記式

天祐ヲ保有ニ萬世一系ノ帝祚ヲ踐タル日本  
國皇帝ハ何官何位勲何等氏名ニ何爵ヲ授ケ  
世襲セシム仍テ汝ハ此爵ニ屬スル接遇ヲ受  
ルヲ得ヘシ

神武天皇即位記元二千五百卅何年明治十何  
年何月何日東京皇居ニ於テ親ヲ名ヲ署シ重  
ヲ鈴ス

御諱

大日本  
國璽

何官兼爵位局總裁何爵何位勲何等氏名

之氏名  
之印

何官兼爵位局副總裁何爵何位勲何等氏名

之氏名  
之印

爵位  
局印

何官兼爵位局大辨事何爵何位勲何等氏名

之氏名  
之印

品及勅授位記式

何官何

品勲何等親王名  
爵何位勲何等氏名

叙何品

御諱

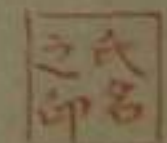
天皇  
御璽

局印  
御璽

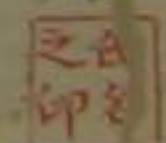
何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名



何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名



何官兼爵位局大辦事何爵何位勳何等氏名



明治十何年何月何日



奏授位記式

何官何爵何位勳何等氏名

叙何位

奉勅

何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名

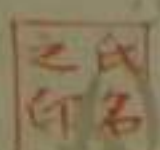
加テ勅任

何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名



奉行

何官兼爵位局大辦事何爵何位勳何等氏名



明治十何年何月何日



判授位記式

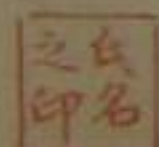
何官何爵何位勳何等氏名

叙何位

何官兼爵位局總裁何爵何位勳何等氏名



何官兼爵位局副總裁何爵何位勳何等氏名



大政官

明治十<sup>爵位</sup>年何月何日  
局印

何官兼爵位局總裁何爵何位勲何等氏名  
何官兼爵位局副總裁何爵何位勲何等氏名  
何官兼爵位局大辦事何爵何位勲何等氏名

奏授位記式

何官何爵何位勲何等氏名

叙何位

奉勅 何官兼爵位局總裁何爵何位勲何等氏名

奉行

何官兼爵位局副總裁何爵何位勲何等氏名  
何官兼爵位局大辦事何爵何位勲何等氏名

明治十<sup>爵位</sup>年何月何日  
局印

判授位記式

何官何爵何位勲何等氏名

叙何位

何官兼爵位局總裁何爵何位勲何等氏名  
何官兼爵位局副總裁何爵何位勲何等氏名

奉勅文字アハバカノ勅任ナリ  
御筆ノミヲ被給ル所ナリ

判授位記式  
印ヲ給ル所ナリ

何官兼爵位局大辦事何爵何位勲何号以名

明治十何年何月何日

爵位  
局印

第八條 本局定額金ノ豫算ヲ具状スル事

第九條 局務ニ付各廳長官ト文書ヲ往復スル

事

第十條 局中各課ヲ廢置スル事

第十一條 局務ニ付爵位ヲ有スル者ハ諸達示ヲ

十ス事

以上

爵位

其局官員中總裁副總裁議定官ハ  
大辦事以下俸給左之通被定候事

年月日

太政大臣

大辦事

千八百圓

權大辦事

千二百圓

少辦事

千圓

權少辦事

七百圓

何官兼爵位局大辦事何爵何位勳何号氏名

明治十何年何月何日

爵位局印

第八條 本局定額金ノ豫算ヲ具状スル事

第九條 局務ニ付各廳長官ト文書ヲ往復スル

事

第十條 局中各課ヲ廢置スル事

第十一條 局務ニ付爵位ヲ有スル者ハ諸達示ヲ

十ス事

以上

爵位局

其局官員中總裁副總裁議定官ハ無給タルヘク  
大辦事以下俸給左之通被定候事

年月日

太政大臣三條實美

大辦事

千八百圓

權大辦事

千二百圓

少辦事

千圓

權少辦事

七百圓

官制  
入  
記  
十

何官兼爵位局大辦事何爵何位勳何等氏名

明治十

何年何月何日

何月何日

第八條 本局定額金ノ豫算ヲ具狀スル事

第九條 局務ニ付各廳長官ト文書ヲ往復スル事

第十條

局中各課ヲ廢置スル事

第十一條 局務ニ付爵位ヲ有スル者ハ諸達示ヲ

十ス事

以上

爵位局

其局官員中總裁副總裁議定官ハ無給タルヘク  
大辦事以下俸給左之通被定候事

年月日

太政大臣三條實美

大辦事

千八百圓

權大辦事

千二百圓

少辦事

千圓

權少辦事

七百圓

官員ヲ無給タルハ總裁副總裁  
制辦事所ニ在リテハ其俸給ハ  
入ニ本支ノ連ハキ方然ル可也蓋  
シ議定官ハ其職制ニ依リテ  
記シタルハ其俸給ハ其任ニ  
十ニ被積ナルヘクハ也



以上年俸

一等掌記

五十圓

二等掌記

四十五圓

三等掌記

四十圓

四等掌記

三十五圓

五等掌記

三十圓

六等掌記

二十五圓

七等掌記

二十圓

八等掌記

十八圓

九等掌記

十五圓

十等掌記

十二圓

以上月給

明治三十四年  
五月一日

以上年俸

一等掌記

五十圓

二等掌記

四十五圓

三等掌記

四十圓

四等掌記

三十五圓

五等掌記

三十圓

六等掌記

二十五圓

七等掌記

二十圓

八等掌記

十八圓

九等掌記

十五圓

十等掌記

十二圓

以上月給

コノ月給  
加ノ  
簡

第三條 現米十五萬石以上舊藩主

伯爵ヲ授クヘキ者左ノ如シ

第一 國家ニ勲功アル者

第二 従一位又ハ権大納言以上ニ昇リシ  
家格ノ華族

第三 現米十萬石以上舊藩主

第四 東西本願寺住職

第四條 子爵ヲ授クヘキ者左ノ如シ

第一 國家ニ功勞アル者

第二 百年以上家ヲ起セル華族

第五條 男爵ヲ授クヘキ者

第一 國家ニ功アル者

第二 前數條記列外華族一般

第六條 右ニ記列シタル者ノ外猶特旨ヲ以テ  
授爵セララル、コトモアルベシ

内規

官爵品位勲等性質ノ區分

一官ハ職任權義保責ノ高卑輕重  
為ノ其等級ヲ分テ其能ニ應ニ  
ナリ故ニ職務上ニ於テノ其  
ニ屬スヘキ者ニアラサルヲ以  
時ハ同時ニ其權義ニ離ル者  
中其職務ノ景状ニヨリ其身上  
ヲ附與スルハ是亦唯政務上ノ便  
宜ニヨル者  
ニシテ其身ニ屬スルコト位階ノ如キ者ニア

*[Faint handwritten notes and red markings at the bottom of the page, including the characters '利' and '宜']*

内規

官爵品位勲等性質ノ區分

一官ハ職任權義保責ノ高卑輕重廣狹ヲ定ムル  
 為ノ其等級ヲ分テ之能ニ應シテ補任スル者  
 ナリ故ニ職務上ニ於テノミ其權利ヲ保テ身  
 ニ屬スヘキ者ニアラサルヲ以テ官ヲ罷ムル  
 時ハ同時ニ其權義ニ離ル、者トス但任官職  
 中其職務ノ景状ニヨリ其身上ニ幾分ノ特權  
 ヲ附與スルハ是亦唯政務上ノ便宜ニヨル者  
 ニシテ其身ニ屬スルコト位階ノ如キ者ニア

故職  
 非ス  
 但テ  
 故ニ其  
 上ニ於  
 從テ  
 證書  
 ノ法  
 孰  
 ヲ得

内規

官爵品位勲等性質ノ區分

十官ハ職任權義保責ノ高卑輕重廣狹ヲ定ムル  
 為メ其等級ヲ分テ才能ニ應シテ補任スル者  
 ナリ故ニ職務上ニ於テノミ其權利ヲ保テ身  
 ニ屬スヘキ者ニアラサルヲ以テ官ヲ罷ムル  
 時ハ同時ニ其權義ニ離ル、者トス但任官職  
 中其職務ノ景状ニヨリ其身上ニ幾分ノ特權  
 ラ附與スルハ是亦唯政務上ノ便宜ニヨル者  
 ニシテ其身ニ屬スルコト位階ノ如キ者ニア

故職務上ニ於テ下位階者  
 非スラ左ノ如ク  
 但コノ改竄ニ關シテ  
 故ニ其事務ヲ處弁スルノ權  
 上ニ於テノミ之ヲ保テ身  
 從テノミ之ヲ保テ身  
 證書  
 ノ法ヲ相解セテ限ハ在官中  
 孰ノ場合ニ於テモ之ヲ保  
 ラ得可シ

天子孫  
ノ人臣ニ列シタル者及ヒ帝室邦國ニオク貴  
顯アル者又ハ帝室邦國ノ為ノ一時偉勲ヲ奏  
シタル者ニ 天皇陛下ノ特旨ヲ以テ之ヲ降  
与シ永ク君權守護ノ義務ヲ担任スル者ナレ  
一般國法ニ對シ別段ノ特許アルコトナ  
雖モ自ラ上等ノ位次ヲ得朝儀宮儀上諸主  
ノ節特別ノ地位ヲ保テ加之法律若シクハ條

ノ人臣ニ列シタル者及ヒ帝室邦國ニオク貴  
顯アル者又ハ帝室邦國ノ為ノ一時偉勲ヲ奏  
シタル者ニ 天皇陛下ノ特旨ヲ以テ之ヲ降  
与シ永ク君權守護ノ義務ヲ担任スル者ナレ  
一般國法ニ對シ別段ノ特許アルコトナ  
雖モ自ラ上等ノ位次ヲ得朝儀宮儀上諸主  
ノ節特別ノ地位ヲ保テ加之法律若シクハ條

例ニ定メタル場合ヲ除クノ外ハ永世其地位  
ヲ有シテ家門ヲ輝カシ變易スルコトナシ持  
トシテハ特旨ヲ以テ臨時ノ保蔭ヲ得ルコト  
アリ

一品ハ位ト殊ナルコトナシ然レトモ親王諸王  
ニアラサレハ之ニ叙スルヲ得ス故ニ四品ト雖  
モ一位ノ上位ニ列ス

一位ハ唯朝儀宮儀上其座次ヲ定ムル者ナリト  
雖モ一般社會ニ對シテモ自ラ其席次ヲ有ス  
故ニ有官有爵者ニ於テ凡ソ朝儀宮儀ニ関ス

リス

一爵ハ族類ヲ區分シ門葉ヲ識別シ特別貴顯ノ  
 榮典ヲ子孫ニ及ホサシムル者ナリ故ニ皇族  
 ノ人臣ニ列シタル者及ヒ帝室邦國ニ於テ貴  
 顯アル者又ハ帝室邦國ノ為メ一時偉勲ヲ奏  
 シタル者ニ 天皇陛下ノ特旨ヲ以テ之ヲ降  
 与シ永ク君權守護ノ義務ヲ担任スル者ナレハ  
 一般國法ニ對シ別段ノ特許アルコトナシト  
 雖モ自ラ上等ノ位次ヲ得朝儀宮儀上諸式礼  
 ノ節特別ノ地位ヲ保テ加之法律若シクハ條

例ニ定メタル場合ヲ除クノ外ハ永世其地位  
 ヲ有シテ家門ヲ輝カシ變易スルコトナシ持  
 トシテハ特旨ヲ以テ臨時ノ保護ヲ得ルコト  
 ナリ

一 品ハ位ト殊ナルコトナシ然レトモ親王諸王  
 ニアラサレハ之ニ叙スルヲ得ス故ニ四品ト雖  
 モ一位ノ上位ニ列ス

一位ハ唯朝儀宮儀上其座次ヲ定ムル者ナリト  
 雖氏一般社會ニ對シテモ自ラ其席次ヲ有ス  
 故ニ有官有爵者ニ於テ凡ソ朝儀宮儀ニ関ス

爵 全ク 帝室 國家 偉勲 授爵 永ク 担任 内朝 可ナ



カニ特別貴顯ノ  
カナリ故ニ皇族  
皇邦國ニ於テ貴  
ノ一時偉勲ヲ奏  
百ヲ以テ之ヲ附  
担任スル者ナレハ  
アルコトナシト  
儀宮儀上諸式礼  
法律若シクハ條

ハ永世其地位  
ルコトナシ持  
陰ヲ得ルコト

トモ親王諸王  
ス故ニ四品ト雖

ムル者ナリト  
其席次ヲ有ス  
儀宮儀ニ関ス

爵号ノ相續不可キ嫡子孫ニ永世家門ノ輝スノ榮アル者ナリ豫メ其俸面ヲ  
全クセビノナル可ラス少ク是等ニ准爵ノ権利アル者トシテ華族ノ第一  
條ニ其旨ヲ記入シ少ル可キカ

帝室邦國  
四字

偉勲ハ

授爵ノ規

永ク君權

担任スルノ位  
ノ標準ト長

内朝外朝トモス  
可ナラニ宮儀

ル者ハ皆預ノ相當ノ位次ヲ設ケテ之レニ叙  
シ其位地ヲ得セシム位ハ他ノ諸  
テ法律若シクハ條例ヲ以テ定メ  
外終身之ヲ保有スルコトヲ得例ハ職官ヲ  
罷免セラル、コトアリトモ一旦叙シタル位  
階ニ属スルノ權ハ依然タルカ如シ

一勲ハ官爵ノ有無高卑ニ拘ハラズ帝  
ハ邦國ノ為メ拔群ノ功勞アル者ハ  
勞ヲ旌表セン為メニ附與スル者ナリ而シテ  
其勞ニ報フ為メニハ別ニ一時若シクハ畢生

金幣ヲ附與スルコトアリ然レモ又其職務ノ  
景状ニヨリテ其功勞ノ有無ニ拘ハラズ信ヲ  
他ニ表スル為メニ之ヲ附與スル者アリト雖  
モ是全ク特別詮議ニ出ル者ニシテ之ヲ以テ  
他ニ比準スヘキニアラス而シテ又其勲等ノ  
高卑ニ從ヒ特權禮遇ヲ有セシムルト雖モ  
クハ有位有爵人ノ特權禮遇ト殊ナルトモ  
其相續人ノ官立學校ニ入ルヲ得ルノ權兵士  
敬礼ヲ受クルノ權死後賻物ヲ得ルノ權及ヒ  
儀仗兵ヲ受クルノ權勲章ヲ家伝ニ比シテ用

ル者ハ皆預ノ相當ノ位次ヲ設ケテ之レニ叙  
シ其位地ヲ得セシム位ハ他ノ諸權ト異ニシ  
テ法律若シクハ條例ヲ以テ定メタル場合ニ  
外終身之ヲ保有スルコトヲ得例ハ職官ヲ  
罷免セラル、コトアリトモ一旦叙シタル位  
階ニ属スルノ權ハ依然タルカ如シ

一勲ハ官爵ノ有無高卑ニ拘ハラズ帝室若シク  
ハ邦國ノ為メ拔群ノ功勞アル者へ終身其功  
勞ヲ旌表セン為メニ附與スル者ナリ而シテ  
其勞ニ報フ為メニハ別ニ一時若シクハ畢生

金幣ヲ附與スルコトアリ然レモ又其職務ノ  
景状ニヨリテ其功勞ノ有無ニ拘ハラズ信ヲ  
他ニ表スル為メニ之ヲ附與スル者アリト雖  
モ是全ク特別詮議ニ出ル者ニシテ之ヲ以テ  
他ニ比準スヘキニアラス而シテ又其勲等ノ  
高卑ニ從ヒ特權禮遇ヲ有セシムルト雖モ多  
クハ有位有爵人ノ特權禮遇ト殊ナルトモ但  
其相續人ノ官立學校ニ入ルヲ得ルノ權兵士  
敬礼ヲ受クルノ權死後賻物ヲ得ルノ權及ヒ  
儀仗兵ヲ受クルノ權勲章ヲ家故ニ比シテ用

此有官  
云迄席  
帝室  
國家

ル者ハ皆預メ相當ノ位次ヲ設ケテ之レニ叙  
シ其位地ヲ得セシム位ハ他ノ諸權ト異ニシ  
テ法律若シクハ條例ヲ以テ定メタル場合ニ  
外終身之ヲ保有スルコトヲ得例ヘハ職官ヲ  
罷免セララル、コトアリトモ一旦叙シタル位  
階ニ属スルノ權ハ依然タルカ如シ

一勲ハ官爵ノ有無高卑ニ拘ハラズ帝室若シク  
ハ邦國ノ為メ拔群ノ功勞アル者へ終身其功  
勞ヲ旌表セシメ為メニ附與スル者ナリ而シテ  
其勞ニ報フ為メニハ別ニ一時若シクハ畢生

金幣ヲ附與スルコトアリ然レモ又其職務ノ  
景状ニヨリテ其功勞ノ有無ニ拘ハラズ信ヲ  
他ニ表スル為メニ之ヲ附與スル者アリト雖  
モ是全ク特別詮議ニ出ル者ニシテ之ヲ以テ  
他ニ比準スヘキニアラス而シテ又其勲等ノ  
高卑ニ從ヒ特權禮遇ヲ有セシムルト雖モ多  
クハ有位有爵人ノ特權禮遇ト殊ナルトモ但  
其相續人ノ官立學校ニ入ルヲ得ルノ權兵士  
敬禮ヲ受クルノ權死後賻物ヲ得ルノ權及ヒ  
儀仗兵ヲ受クルノ權勲章ヲ家故ニ比シテ用

此有官有爵者ヨリ位地ヲ得ル  
ニシテ帝室表ヲ角ス削ル可シ

帝室若クハ邦國ノ字  
國家ノ二字ニ改ム可シ

井ルノ得ルノ権等ノ如キニ至ラハ他者ニ属スル諸権ト全ク別異ナリ

華族令發行爵位局創置順序方法

華族令ヲ發行スレハ該族ノ華一時平民ニ混スルニ付キ氣勢ニ関スル少カラサルノミナラス刑法改正以前ナルヲ以テ法律上ノ混雜ナキヲ保シ難シ故ニ令ノ發行スル同時ニ授爵スルノ手順ヲ十サ、ルヘカラス

然レハ令發行ノ前數日ニ於テ爵位局ヲ創置セシ歟爵位局ハ爵位管理ノ局ナルヲ以テ爵

制ノ發告前ニ之ヲ設クル甚不可ナリ

爵位局ヲ置キ其官負ヲ任スル亦皆令ノ發行

ト同時ニ於テセシカ四百有餘ノ授爵ヲナス

要時間ノ能ク辨スル所ニアラス况ニヤ今後

爵記ノ制ヲ重クシ 天皇陛下ノ御記名ヲ要

スルニ於テヤ

故ニ凡ニケ月許前ヨリ豫メ其官員ニ充ツベ

キ者ヲ選定シ内命ヲ以テ其官職ヲ定メ令ノ

發行及ヒ授爵ノ事務ニ従事セシメ其順序備

具スルニ至ツテ同日ニ之ヲ發告スルヲ要ス

其發告當日ニハ先ツ爵位局ノ官員ヲ任シ次  
ニ大臣及ヒ爵位局總裁ニ授爵シ從テ一般授  
爵ノ事ヲ行ハ、爵記中其官爵ヲ記列スルニ  
体ヲ得ン

品位令モ亦同日ノ發行ヲ要スト雖トモ是從  
前ノ位階ヲ廢スルニ非サルヲ以テ叙位ノ儀  
ハ後日漸次調査整理シテ之ヲ授叙スルモ妨  
ケアルコトナシ

爵位局官負ノ奏任以上ニ係ルモノハ多クハ  
本官アル者ヲシテ之ヲ兼任セシムルヲ可ト

ス但シ其官等ノ如キハ必シモ本官同等ナル  
ヲ要セス

其判任以下ニ於テハ合計十員餘ニシテ足レ  
リトス其發令前一時ノ繁忙ナルニ當ツテハ  
宮内省若クハ式部寮法制局等ノ官負ヲシテ  
之ヲ幫助セシムルモ可ナラン

爵位記ノ用紙及ヒ輪廓花紋等ハ大率勲記ト  
同シキラ可トス但シ其寸法ハ凡ソ美濃紙ノ  
大サニシテ可ナラン  
爵位記用ノ印章類其他爵位記用紙ノ如キモ

其發告當日ニハ先ツ爵位局ノ官員ヲ任ニ次  
ニ大臣及ヒ爵位局總裁ニ授爵ニ從テ一般授  
爵ノ事ヲ行ハ、爵記中其官爵ヲ記列スルニ  
体ヲ得ン

品位令モ亦同日ノ發行ヲ要スト雖トモ是從  
前ノ位階ヲ廢スルニ非サルヲ以テ叙位ノ儀  
ハ後日漸次調査整理シテ之ヲ授叙スルモ妨  
ケアルコトナシ

爵位局官負ノ奏任以上ニ係ルモノハ多クハ  
本官アル者ヲシテ之ヲ兼任セシムルヲ可ト

ス但シ其官等ノ如キハ必シモ本官同等ナル  
ヲ要セス

其判任以下ニ於テハ合計十員餘ニシテ足レ  
リトス其發令前一時ノ繁忙ナルニ當ツテハ  
宮内省若クハ式部寮法制局等ノ官負ヲシテ  
之ヲ幫助セシムルモ可ナラン

爵位記ノ用紙及ヒ輪廓花紋等ハ大率勲記ト  
同シキヲ可トス但シ其寸法ハ凡ソ美濃紙ノ  
大サニシテ可ナラン

爵位記用ノ印章類其他爵位記用紙ノ如キモ

皆内命ノアリニ上直ニ之ヲ調製シ豫ノ爵記  
ヲ作りテ覆令日ノ用ニ備ヘシ  
授爵記四百有餘ノ者ニ一時ニ附與スルハ容  
易ナラサルヲ以テ一時仮記式ヲ以テ之ヲ授  
ケ後日本記式ト交換スルモ可ナラン



